

# 立命館経済學

第 33 卷 第 5 号

1984年12月

---

## 内 容

### 論 說

- 資本輸出の諸問題について……………岩 田 勝 雄 1  
「社会主義経済と国家」にかんする覚書（中の2）……芦 田 文 夫 24  
——「経済的メカニズム論」とのかかわりで——

### 研 究

- 貨幣・信用恐慌と中央銀行準備金……………竹 味 能 成 77

### 資 料

- 日本資本主義確立期の資本家名簿(5)……………後 藤 靖 91  
共同研究室…………… 142

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第33巻・第3号

論 説

- 発展途上国の開発政策と経済成長……………本 田 豊  
「社会主義経済と国家」にかんする覚書（中の1）……………芦 田 文 夫  
——「経済的メカニズム」論とのかかわりで——  
ミシシッピデルタにおける公民権運動の  
展開と帰結（下）……………藤 岡 惇  
——「フリーダムサマー」20周年によせて——  
ケインズの資本主義経済観の形成と展開（完）……………松 川 周 二  
——ケインズ経済学研究序説Ⅰ——

紹 介

- 董輔弼『孫治方の社会主義経済理論を論ず』……………松 野 昭 二  
共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第33巻・第4号

論 説

- パーシェ式物価指数の寄与度・寄与率……………関 彌 三 郎  
現代資本主義の労働制度（2）……………三 好 正 巳  
——国家独占資本主義の社会政策論のために——  
IBM社の組織変革（8）……………坂 本 和 一

研 究

- 交通経済学体系と方法論上の問題点……………森 田 優 己

翻 訳

- M・K・バンドマン著『圏域生産コムプレックス』……………杉 野 圀 明  
共同研究室

発行所 立命館大学経済学会